

そよ風

- 1 ダンスパーティ 2015
- 2 第三者評価
- 3 施設協議会・ICT 関連
- 4 主任職研修・
プロナース育成研修修了報告
- 5 看護部院内研修計画
- 6～7 平成 27 年度行事案内・療育活動
- 8 人事異動・編集後記



☐☐ ダンスパーティ 2015 ☐☐

リハビリテーション科 作業療法士 内野 強



6 月 10 日に行われたダンスパーティーには、総勢 33 名、8 組の利用者が参加され、日頃の練習の成果を披露しました。

ダンスの曲は、フォークダンスに始まり、J ポップ、ハワイアン、クラシックなどバラエティに富んだ選曲でした。また、スタッフ手作りの中世ヨーロッパの騎士をイメージしたマントや、アロハシャツとムームー、民族楽器で南の国に早変わり、ダンス中に野球の試合が始まったり！…と、どの組も本格的な衣装や演出が見事でした。そしてなにより、参加された皆さんのダンスが本当にステキでした！当日観に来てくださった方々にも感謝です。来年も盛り上がりましょう！！

☐☐ 平成 26 年度福祉サービス第三者評価結果 ☐☐

1. 評価機関名：特定非営利活動法人 NPO サービス評価機構

2. 評価結果の概要

(1) 障害児入所支援（旧重症心身障害児施設）（長期入所）

①特に良いと思う点

- ・利用者が多様な経験を積めることを目指した、職員の創意工夫は評価に値する。
- ・感染予防対策委員会、リスクマネジメント部会などを設置し、安全対策活動を重層的に展開している。
- ・FISH 哲学を中心に据え、職員が生き生きと働く職場をつくり、サービス向上につなげている。

②さらなる改善が望まれる点

- ・IT 化を推進し、業務効率・サービス向上につなげていくことを期待する。
- ・大規模災害に備えたより一層の取り組みが望まれる。
- ・第三者委員の周知徹底やその活用について検討されることを期待する。

③センターが特に力を入れている取り組み

- ・歯の治療だけでなく、口腔衛生指導を含む予防的な処置や定期検診を実施している。口腔ケアの継続的な実施で、口腔内の衛生環境が改善している。口腔ケアは経管栄養の利用者も含め、全員 1 日 3 回実施している。
- ・全利用者に対して、生活の中にメリハリをつけている。各病棟が合同で QOL 向上プロジェクトを実行し利用者の意思を尊重し、日常生活が楽しく快適になるような取り組みを行っている。
- ・職員の教育システムは充実している。専門コースでは、重症児者ケアの中でも重要な「摂食・嚥下障害ケア」と「呼吸ケア」の院内エキスパート育成を目的に年間を通して事例研修を進め、改善活動も実施し、これらの取り組みを通して、職員のやる気向上にもつなげている。

(2) 生活介護（主たる利用者が重症心身障害者）（通所）

①特に良いと思う点

- ・日常の療育活動、「ゆったり通所デイ」、季節行事などで、利用者の楽しいな活動を提供している。
- ・予定外通所などの仕組みを設け、家族の負担の解消に努めている。
- ・感染予防対策委員会、リスクマネジメント部会などを設置し、安全対策活動を重層的に展開している。

②さらなる改善が望まれる点

- ・訓練担当部署とのより一層の協働を期待したい。
- ・利用者にとって居心地のよい環境となるよう、ハード面の改善促進が望まれる。
- ・大規模災害に備えたより一層の取り組みが望まれる。

③センターが特に力を入れている取り組み

- ・利用者が食事を楽しめるよう支援を行っている。
- ・地域との連携のもとに利用者の生活の幅を広げるための取り組みを行っている。
- ・さまざまな取り組みにより、業務の一定水準を確保している。

平成 27 年度 日本重症心身障害福祉協会全国施設協議会

事務部 庶務係次席 上丸幸男

5 月 15 日から 2 日間、新潟県湯沢町で開催されたこの協議会に、倉田院長、佐藤看護科長とともに参加してきました。本協議会は、120 を超える全国重症児施設が加盟する公益社団法人日本重症心身障害福祉協会が主催するもので、今年は約 400 人の施設長、看護部長、事務長、行政担当者などが出席しました。

厚生労働省担当者からの行政説明に続き、埼玉医科大学総合医療センターの田村小児科教授による「post - NICU 重症児の在宅医療連携」と題する特別講演が行われました。

シンポジウムでは、今回のテーマが『施設から在宅への流れの中で～重症心身障害児者施設の現状と展望』であったことから、各地区の代表シンポジストから在宅重症心身障害児の現状報告や支援体制、在宅生活支援において施設が求められている役割などについて活発な意見が述べられました。また、通所支援・短期入所・居宅支援事業などの充実を一層図るために、行政・地域との連携を強化しつつ、施設側と保護者間においての協議を重ねることが重要であるなどの意見もありました。

続いて、8 つの専門委員会（医療問題検討委員会・福祉問題検討委員会など）からこの一年間の取り組みや報告が行われ、それに対する質疑等が交わされました。

協議会の前日 5 月 14 日には、公益社団法人日本重症心身障害福祉協会の平成 27 年度永年勤続者表彰式が行われ、当センターからは 6 名の職員が表彰を受けました。



感染予防対策について、ICT の役割

医局 医師 江添隆範

昨今のニュースで感染症が取り上げられる機会はとて多くなりました。海外の出血熱や重症呼吸器感染症、昨年夏のデング熱、冬期を中心にしたインフルエンザ、ノロウイルスなど、かつてないほどです。自然中で病原体は生存し続け、交通網の発達とは異国の地の感染を、数時間で日本に運んでくれます。テレビの騒ぎは、対岸の火事ではありません。

当センターも昨年のノロウイルス集団感染を経験し、感染症の怖さを痛感しました。医学が進歩し、感染症治療は進歩しました。しかし感染症がなくなった訳でもなく、感染で命を落とすこともあります。日本でも予防接種行政が前進したのは素晴らしいことです。では我々の使命である、最も弱い人達を守るには何をすればよいのでしょうか？それは、正しい感染の知識を持ち、日々の手洗いや健康管理を徹底することです。当たり前のことを実行することが強固な壁を築くのです。ICT は今後もセンターに関わるすべての人に感染予防の意識が定着するように活動を続けます。ICT : Infection Control Team……感染対策チーム

〇〇 平成 27 年度「職層別研修」主任研修 〇〇



平成 27 年度「職層別研修」主任研修が初めて実施されました。

東京都立東大和療育センターは、施設理念の実現に向け、より高い専門能力を持った人材とコスト意識を備えた経営センスに富む人材育成を目指して「東京都立東大和療育センター人材育成基本方針」を平成 26 年度に作成しました。それに基づく研修計画の中で、これまで取り組みが遅れていた「職層別研修」を今年度から実施することになりました。

1 つは昇任時主任研修です。目的は主任の役割を理解し、主任として自覚すると共に役割を発揮するのに必要な能力を高めることで、対象者は多職種の志が高い主任 5 名でした。研修内容として事前課題、講義、グループワーク、発表を行いました。

2 つめは主任研修です。センターとよつぎ療育園の主任が、2 年間で全員受講できるように企画し、今年度はその約半数の 17 名を対象として実施しました。研修の目的は、主任としての役割を自覚し、課題について取り組める能力を身につけることで、2 人の係長から主任の役割等について講義を受けた後、グループワークを行いました。

今回の研修を通して、他職種の主任と話し合うことで視野が広がり、よい学びとなった、OJT に活かしていきたい等の感想がありました。皆様の今後の活躍に期待しています。

〇〇 プロフェッショナルナース育成研修終了報告 〇〇

第 3 病棟看護師 中島弘樹



平成 25 年 4 月から平成 27 年 3 月まで、第 3 期生として当センターからは 4 名の看護師が受講させていただき、今年の 5 月に 4 名全員、「日本重症心身障害福祉協会認定 重症心身障害看護師」を取得することができました。どの病棟も忙しい中、2 年間に渡り研修を受講させていただき感謝いたします。

医療は日々進歩しており、看護の分野でも常に新しい情報、知識を得ておかなければなりません。外部の研修は豊富にあり、学ばなければならないことは、無限のように広がっていると感じますが、重症心身障害看護に絞ると、外部の研修は決して多くはありません。自己学習には行き詰まりを感じていた時に、プロフェッショナルナース育成研修の存在を知り、ぜひ学びたいと熱望し受講させていただきました。

通所施設・訪問看護も含め、都内の施設から 40 名を超える研修生が集まりました。3 期生は特例で東北 3 県からも 3 名の研修生が受講し、その中の 1 人が偶然にも 10 年ほど前に当センターで勤めていた看護師でした。

講義は、周産期からターミナルケアに至るまで、重症心身障害に係るあらゆる分野について網羅されており、いずれの講義も概論を含む医療的な知識、看護としての具体的なアプローチを学ぶことができました。実習とグループワークは、他施設の状況や、同じように抱えている問題を知ることができた貴重な機会となりました。刺激もたくさん受けて、もっと頑張らなければならないと意欲が湧きました。

研修で学んだ多くのことを活かして、利用者様に安全で安心していただける看護を実践していきたいと思えます。

平成 27 年度看護部院内研修について

看護部の平成 27 年度院内研修を紹介します。センターに入所されている長期利用者の方は、毎年、年齢を重ね医療的ケアが少しずつ複雑になってきております。

また、短期入所の方や医療入院の方も、低年齢化となり高度の医療を必要とする方が多くなってきています。このような状況の中で、安全で安心できる療育環境を整備し、質の高い看護療育の提供ができる職員の育成をめざし、院内教育を企画しています。看護師・保育士・指導員がそれぞれの専門性を活かして実践ができ、仕事を通して成長ができるような内容になっています。

平成 27 年度院内研修計画一覧

研 修 名		研 修 目 的	対 象
基礎コース	新任オリエンテーション 基礎コースⅠ	①看護部職員として必要な知識・技術を学び、病棟での業務に活かす。 ②看護（療育）の基礎技術、知識、態度を習得するとともに、重症心身障害児（者）の特徴を理解し、安全な看護（療育）を提供する。 ③担当職員として助言を受けながら看護（療育）計画に沿って実践する。	1 年次 悉皆
	基礎コースⅡ	①担当職員として助言を受けながら利用者の看護（療育）の展開に責任を持つ。 ②根拠に基づいた看護（療育）を実践する。	2 年次 悉皆
	基礎コースⅢ	①担当職員として自立し責任ある行動がとれる。 ②根拠に基づいた知識技術とともに、個別的看護（療育）の実践ができる。	3 年次 悉皆
一般コース	プリセプター	プリセプターの役割を理解し、後輩指導に活かす。	職歴 3 年目以降
	在宅支援	重症心身障害児（者）の在宅での生活を知り、在宅支援に活かす。	職歴 4 年目以降
	問題解決	問題解決のプロセスを通し課題抽出、解決能力を身につける。	
	看護診断	看護診断に必要な知識を深める。	
	療育研究	療育上の疑問や問題を科学的方法により検証し、療育の質の向上を図る。	
専門コースⅠ	摂食嚥下障害看護	摂食嚥下障害看護の指導的役割を果たす。	基礎コース修了者 （看護師）
	呼吸管理	呼吸管理の指導的役割を果たす。	
専門コースⅡ	療育活動	ムーブメント活動における指導的役割を果たす。	基礎コース修了者 （支援科）
管理コース	主任研修	主任としての役割を自覚し、課題に取り組む。	主任
	係長研修	管理について学び、職員指導に活かす。	係長

行事のご案内

平成 27 年度の主要行事は、以下のとおりとなります。例年の内容から一点大きく変更を行い、8 月に実施していた『夏祭り』と 10 月に実施していた『東大和療育センターフェスティバル』を統合し、新行事として『秋祭り』を計画いたしました。現在、委員会を開催し内容の検討を始めたばかりで詳細はお伝えできませんが、楽しみにお待ちしております。

今年度も利用者の皆様楽しんでいただけますよう、どの行事におきましても検討・工夫を重ね、皆様のご理解・ご協力をいただきながら準備してまいります。

多数の皆様のご参加お待ちしておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

【センター行事】	秋祭り	10 月 17 日 (土)	
【病棟・通所行事】	クリスマス会	12 月 3 日 (木)	第 1 病棟
		12 月 9 日 (水)	第 3 病棟
		12 月 11 日 (金)	通所
		12 月 15 日 (火)	第 2 病棟
		12 月 18 日 (金)	第 4 病棟
	吹奏楽演奏会	6 月 27 日 (土)	多摩スマイル吹奏楽団演奏会
		10 月	駒澤大学高等学校演奏会
		3 月	東京都立東大和南高等学校演奏会



委託会社栄養士 大竹 思葉

4 棟利用者さんの還暦のお祝い膳としまして、豪華で華やかな松花堂弁当をご用意致しました。

主食は季節感漂う桜ご飯です。ほんのり桜の香りがするやさしいお味にしました。主菜は、還暦のお祝いにふさわしい鯛の幽庵焼きです。鯛をムース状にし、魚の型に流し込み、スベラカーゼで固めました。

副菜は、大根と人参のなま酢・枝豆腐の冷奴・たけのことほうれん草のおかか和えです。ほうれん草のムースを葉の形にくり抜き彩りよく工夫しました。汁物は春野菜が沢山入ったお味噌汁です。デザートは柏餅と抹茶のパフェです。柏餅はもち米とこしあんをそれぞれスベラカーゼで固め冷やして形にしました。



ヨガクラブのご紹介

リハビリテーション科 理学療法士 山崎 理恵

ヨガクラブは、平成 25 年 9 月に発足し、活動を開始してからもうすぐ丸 2 年になります。現在、部員は 20 名で、毎月 2 回のレッスンを行っています。ヨガのレッスンはヨガインストラクターの MAYA 先生にお願いしています。MAYA 先生のヨガは、「心と体を見つめ体質改善を目指すヨガ」であり、ヨガを行うことで自分自身の身体の変化に気づいたり、身体の変化を見つめ直したり、元気に明るくハッピーな気分になったりすることを大切にしています。部員は初心者から経験者まで、そして身体の柔らかい人から硬い人まで、さまざまですが、先生はそれぞれのレベルや希望に合わせたプログラムを構成してくれています。

スタンダードヨガは、坐位や立位のポーズ中心のプログラム、リラックス・腰痛ヨガは、臥位や坐位のポーズ中心、そして腰痛持ちの多いセンターには欠かせない、体幹筋を意識したプログラムとなっています。ヨガの後は身体が軽くなった、体調がよくなったという感想も多く聞かれます。リラックスのレッスンでは気持ちが良くて寝てしまう人も続出です。何より、仕事帰りにセンターで行うことができ、1 回の参加費が安いことも魅力です。みなさんも一緒にヨガをしませんか？お待ちしております。

開催日：第 1 金曜日 (スタンダードヨガ)
第 3 金曜日 (リラックス・腰痛ヨガ)
時間：18:00 ~
場所：プレイルーム
参加費：部員 500 円 (別途部費 1,000 円)
部員以外 1,000 円

音楽クラブ紹介

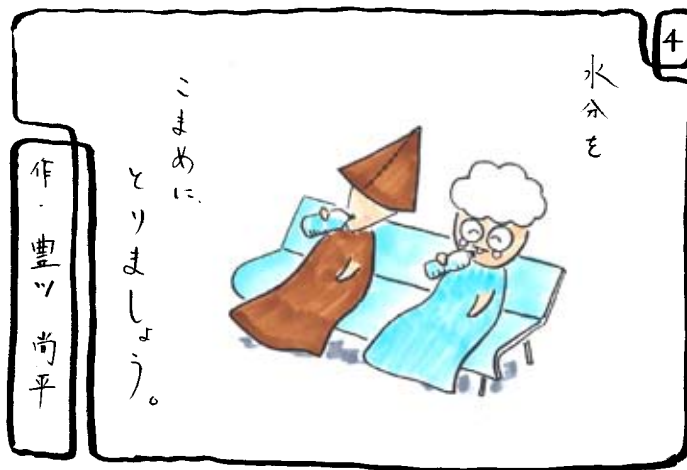
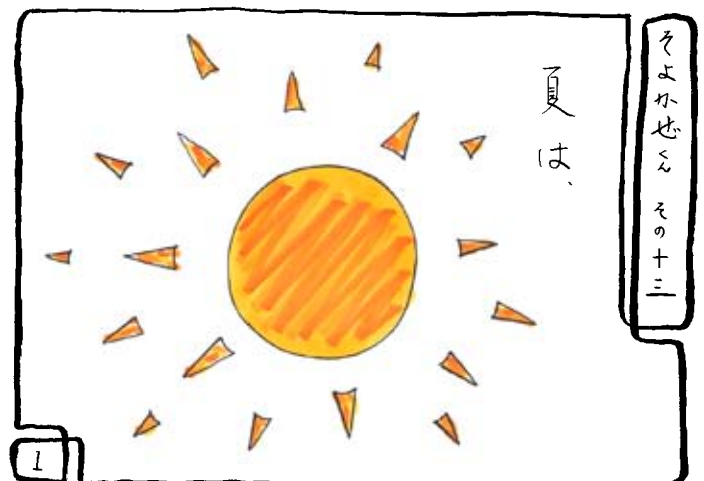
第 3 病棟指導員 杉本裕樹

皆さん、音楽を聴いたり、歌ったり、又は演奏したりして楽しい気持ちになってスッキリした経験はありませんか？そんな不思議な音楽の力に気付いた古代エジプト人も「音楽は魂の薬」と言っていたそうです。そんな音楽の力に魅了された数人の「オヤジ、達が昨年度、センターに「音楽クラブ」を新設しました。

現在はオヤジバンド「カスタネッツ」としてセンター職員の忘年会の席や東大和市内のライブハウスなどでライブをし、ライブに向けての練習や第 4 週金曜日にギター教室などを開講しています。今後はメンバーを増やし、活動の幅を広げていきたいと考えています。

「音楽、と「素敵なオヤジ、に囲まれながら楽しい時間を過ごしませんか？最近、続々とメンバーが増えています！私も「音楽、と「オヤジ、に魅了されて入部したひとりです。興味のある方は是非とも入部お待ちしております！お近くの部員にお声掛け下さい！





編集後記

夏祭りと東大和フェスタを融合して誕生する秋祭り……個人的にはご利用者やご家族のことを考えると、いつかはそうなると漠然とは感じていました。1×1=1ではなく、1+1=2以上となるよう、創意工夫の粋を結集して取り組んでいきたいです！（あっしー）

初めてそよ風の編集に携わりました。作る側に立ってみて、たくさんの方の協力や皆さんの試行錯誤がわかりました。1ページ1ページ心が込められたそよ風を是非ご覧ください。（M・T）



東大和療育センターホームページ

東大和療育センター

検索

そよ風第81号

編集 院内報そよ風編集委員会

発行日 平成27年7月15日

発行 東京都立東大和療育センター

東京都東大和市桜が丘3-44-10

☎ 042-567-0222

印刷 有限会社 はじめ印刷

☎ 042-560-3031